

おい書館 No. 28

請願

継続審議

昨年十二月市議会に提出しました「請願」が、十二月十三日教育・民生委員会と審議され、三月議会に「継続」されました。紹介議員は、工藤鈴子・湯浅和子・渡辺寛美・渡部一の各氏に依頼することができ、委員会での主旨説明や答弁は工藤議員が引き受けて下さいました。私達の活動や考え方を可能な限り工藤さんに知っていただくため

に、資料をお渡しし話し合いの場を持ちました。更に、「百圓は一見に如かず」——私たちが見学した近隣の素晴らしい図書館を見て欲しいとの意向を汲んで浦安市立図書館に足を運んで下さった工藤さんの熱意に感謝しております。

教育・民生委員会の方々に説明に歩く中のかなりの手応えを感じ、十二月十三日の委員会当日を迎えました。「おい」図書館からの傍聴は必名です。工藤さんは、私たちの理念、要望を更に適確に捉えて説明して下さいました。



討議概要

小沢委員…まず最初に用地を要求した方がよかったのではないか。(ここをひとしきり、用地に関してのやりとり)——以下質問省略。

館長…現図書館は建設から二十年以上経っており、市民から新しく大きな図書館を希望されている。調査費は現在の予算の中で充分。新たな予算も準備委員会も、用地が確保できた時点からでよい。検索機は五年後からリース契約が切れ、導入を考える時期に来ているのと、平成八年夏頃までに決定したい。請願内容については充分理解したい。

次長…一人当たり図書費は県内35市町村中3/位。蔵書数は30位。

次長・①新図書館は50万市民
 に対応できるスペースと機能を持
 ったものにした。生涯学習セ
 ンター内に設置し、図書館網の中
 心、分館の総括館にしたい。情
 報社会や市民の調査研究に対応
 できるようにしたい。

②市民参加は、アンケートなど日
 常の活動の中で市民の声を広く
 聞いているが、新図書館につい
 ては新たに機会を作って聞きた
 い。

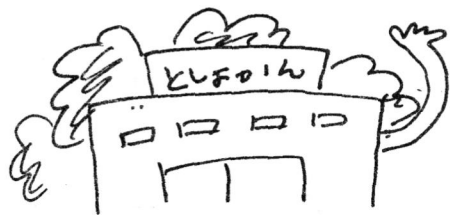
③平成十年までに用地取得・設
 計を計画している。

館長・利用者端末は現在無い
 ので費用はわからぬ。職員用
 は平成八年に更新後の方向づけ
 をしたい。利用者用は、本館と
 大型分館に四台入れたい。ソフ
 トなどで一億円程度かかる。ソ
 フトは高価だし、説明しにくい。

山口委員…この請願が採択され
 て困ることはあるか。

館長…請願の内容はすべて現
 在進めていることなので、採択
 されても不採択になっても困る
 請願にはそぐわない内容だ。

小沢委員…請願は継続とし、
 「おーい図書館」と委員長・副
 委員長が話し合せて、早く作る
 方向で、ということにならう
 い。



山口委員…
 用地取得を速
 やかにしてほ
 しい。

松崎委員…
 十五、六年前
 から図書館問
 題は取り上げ
 られているの

だから、早く作ってほしい。
 そして採決に移り、「継続」
 と決定。



市民の当然の権利として「請
 願」という形をとったのですが、
 色々な意味で非常に勉強になっ
 たというのが実感です。土地の
 取得の計画や実状について、そ
 の経緯を調べるなど、今後に向
 けて「気を取り直して」私たち
 の活動を続けて行きたいと思っ
 ています。

(青木和子)

発行 「おーい 図書館」
 連絡先 青木和子

松戸市稔台八三〇、六〇
 〇四七三(六七)五三八四